



1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の復興支援に駆け付けたボランティア活動がきっかけとなり、その3年後に特定非営利活動促進法が制定された。NPO法人が次々と設立され市民活動が広がり、社会は国家と営利企業だけでは成り立たないことが可視化されていった。

それから四半世紀が経過して、NPO法が実在する市民活動団体に法人格を与えるものだったように、実体としてあるワーカーズコープに法的根拠を付与する労働者協同組合法が制定された。ただし、労協法制定の意味はそのことに留まらない。時はまさに新型コロナウイルスの感染拡大の最中にあり、人間の経済活動がもたらした気候危機などの問題は、人々に未来の姿を描き直すことを求めている。大きく時代が変化しようとしている今、労協法が成立したことは偶然ではないと思う。

人々が人間らしい仕事と暮らしを手にし、持続可能な社会を創るために、労協法が広く活用され協同労働が社会に定着していくことを期待する。協同総研も変革の時代をみなさんと共に歩んでいきたいと思う。(利根川 徳)

2020年はコロナ一色だったが、師走に労働者協同組合法が制定されたことで一筋だが大きな希望への光を見出すことができた年となった。2021年から10年単位で振り返ると、1991年ソ連崩壊、2001年アメリカ同時多発テロ、2011年東日本大震災があり、いずれも社

会が激動した年であった。2021年も社会が激動する予感を感じながら、現代社会の分断・孤立・排除・気候危機から、いかに「協同」・「連帯」・「包摂」・「持続可能」・「命が輝く」・「人間性を深める」・「多様性を担保する」社会を創造することが、今を生きる当事者として鋭く問われている。個人的なことだが、2020年は『発』（発信、創発、発意、発刊、発汗等）を目指し完全燃焼が出来た。2021年は協同の未来のあり方を『拓』くことを目標にしたい。「社会がどのようになるか」に対応するだけでなく、協同労働による社会変革をする主体者として「社会をどうつくるのか」という姿勢で2021年を歩んでいく。具体的には、3/13の協同総研30周年記念集会、6/26の協同総研総会、『協同ではたらくガイドブック実践編』作成を節目にして、雄飛したい。（相良 孝雄）

昨年は労協法が制定され、たくさんの注目を集める年になりました。法律の活用に興味を持つ方からのお話を聞くと、普段内部にいると気づけない協同労働の魅力が、外から見るとこんなにも新鮮に見えるのだと再発見することが多くありました。

また、新型コロナウイルスの脅威は今年に入ってから落ち着く様子を見せず、先の見えない不安を感じます。誰もが感染してもおかしくない状況であり、雇止めや収入減少などの生活困窮が喫緊の課題になっています。生活様式も変わり、ワーカーズコープにはケア現場が多いですが、例えば学童の現場ではおやつの時間に対面で食べないようにするなど工夫がされています。

世界的に大変な状況が続いておりますが、会員の皆さんや、新しくワーカーズコープに関心を持つ方と交流する機会をもち、協同で働くことの魅力が伝わるように邁進していきたいと思います。皆さまからもご意見をいただけると幸いです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（岩城 由紀子）

2021年は東日本大地震から10年の節目の年でもある。復興の証とされた東京オリンピックは、COVID-19の世界的流行により延期せざるを得なくなり、未知のウイルスの出現が一極集中型の暮らしの危うさを露呈したが、このことはすでに3.11から私たちが学んできたはずのものだった。一極集中という一見効率の良い暮らしは、その外側に多くの矛盾を含み、最終的には気候危機として私たちの生活だけでなく、未来世代に多大な影響をもたらしている。会員で環境活動家の武本匡弘さんが毎月行っているネイチャーセミナーの実践編に参加した際、元サウジアラビア石油相Sheikh Ahmed Zaki Yamaniの言葉を教えてもらった。“The Stone Age did not end for lack of stone, and the Oil Age will end long before the world runs out of oil.”

年々不確実性を増す社会で、唯一確からしい存在として私の前に存在する「協同労働」の実践は、団会議という学び合いの場を通じて、常に試行錯誤を繰り返しながら自分たち

の向かう方向を決めていくという部分に大きな未来的価値があるのだと思う。労協法が成立し、地域に根ざした協同労働が、近い未来の新しい仕組みとなる今、共に、道を切り拓いていきたい。
(荒井 絵理菜)

今を去る50年も昔、“Arbeite mit, plane mit, regiere mit!”(共に労働し、共に計画し、共に統治すべし!)という憲法規範に出会い、感動しました。今は存在しない、ドイツ民主共和国(東ドイツ)憲法(1968)第21条に掲げられた規定です。

以来、社会主義国の国家企業における労働者の地位をテーマとする研究の日々が始まります。協同労働という符牒ではなく、協働という術語により、労働者の参加を含む国営企業の業務管理法制を把握することを主題にしました。研究素材は、ドイツ、ハンガリー、(今は解体されていますが)チェコ・スロヴァキアに求め比較研究を行うこととなります。

といっても、ここ22年は、労働者協同組合法に軸足を置いています。1984年にハンガリー政府留学生としてブダペシュトに赴いて早々、社会主義国は90年代を迎えられないとの確信を得たこともあり、資本主義国家における産業官僚制度の止揚に研究課題をシフトさせ、労働者協同組合を視野に収めたからです。

今に至る50年の知的探求は労働者協同組合法にともかくも実を結びました。感無量です。
(島村 博)

何のための研究か？

昨年末に念願の労働者協同組合法が成立しました。そして今年協同総研30周年です。この機に協同組合とは何か、その研究とは何かについて熟議し、実行する年にしたいと思います。

ドイツのフンボルト大学(ベルリン)玄関ホールの壁に、»Die Philosophen haben die Welt nur verschieden interpretiert, es kommt aber darauf an, sie zu vera ndern«なる文が刻まれています。(https://www.hu-berlin.de/de/pr/medien/publikationen/geschichte/pdf/feuerbach_de)

言わずもがなマルクスのフォイエルバッハに関する11番目のテーゼ「哲学者たちは世界を様々に解釈したに過ぎない、しかし重要なのはそれを変革することである」です。私は学生時代から他はさておき何故かこの言葉が気に入っていました。今もそうです。

ということで、2021年は、「協同組合は組合員のものだが、協同組合制度は市民(国民)のもの」の視点でICA協同組合原則の弱点に目を向け、それを見直すこと。そして、誰でもが主体的に協同組合を作り、活用する、そのような協同組合理論を再構築する研究を発展させる年にしたいと思います。
(岡安 喜三郎)

研究所活動日誌 (2020.12.16~2021.1.15)

12月

- 16日(水) 本部全組合員会議、よい仕事研究交流集会2021準備会、本部シンポジオン、埼玉大学寄附講座
- 17日(木) ぐるぐるプロジェクト会議、センター府中あおばに訪問(金只さん、布川さんと懇談)
- 18日(金) センター事業団理事会
- 19日(土) 日本社会連帯機構総会・記念フォーラム
- 21日(月) 組合員くらしのアンケート委員会、金只悠司さんと懇談(ワーカーズコープ立ち上げ)、駒澤大学中島舜さんと懇談、現代座訪問(木村快さん、木下さんにヒアリング)
- 22日(火) 世田谷区乳幼児健診未受診者等地域訪問調査
- 23日(水) 新法人立ち上げ支援チーム事務局会議、協同総研2030ビジョン会議
- 24日(木) 拡大広報会議、協同ではたらくガイドブック実践編打ち合わせ、ナチュラルオフィススクリーニング講座、コンセプトルーム検討会議
- 25日(金) 生協総研研究会「労働者協同組合を学ぶ国際編」、統合本部社連地方委員会会議
- 12月29日(火)~
2021年1月3日(日) 年末年始のため閉所

2021年1月

- 4日(月) 仕事はじめ
- 5日(火) 労協連合同5役会議、協同総研事務局会議、法制化委員会
- 6日(水) 永戸祐三さんインタビュー(1月号)、山川知則さん懇談
- 7日(木) 桃山学院大学ワーカーズコープ寄附講座現地出講(相良)、危機管理マニュアル文化学習協同ネットとの打ち合わせ、ユース企画会議
- 8日(金) 労協法の大阪集会で田代明会員と打合せ、京都大学協同組合論(辻村先生、北川先生)、京都大学大学院出講(相良)、所沢小農活動日、竹取物語打ち合わせ
- 12日(火) 30周年記念事業協同総研ロゴ打合せ、山梨県立大学社会福祉論Ⅱ(下村先生)出講(相良)、永戸祐三さんインタビュー(1月号)
- 13日(水) 埼玉大学寄附講座、日本社会連帯機構事務局会議
- 14日(木) 桃山学院大学ワーカーズコープ寄附講座現地出講(相良)、フードバンクいたばし会議
- 14-15日(木-金) センター事業団全国所長会議、永戸祐三さんインタビュー(1月号)

今後の活動予定 (2021.1.16~3.31)

1月

- 17日(日) 埼玉大学安藤先生雑誌社会教育打ち合わせ
- 18日(月) 本部シンポジオン、JYC理事会、JYC研究会打ち合わせ、組合員くらしのアンケート委員会
- 20日(水) 埼玉大学寄附講座、新潟大学ワーカーズコープ寄附講座出講(相良)、安全運転研修、コンセプトルーム検討会議、JYC連続講座
- 21日(木) 本部協同労働プラットフォーム会議、東京農工大学朝岡先生と懇談、社会的企業研究会『労働者協同組合法研究会』藤井恵里さん(WNJ代表)、田嶋康利(日本労協連専務理事)報告
- 22日(金) 労協連理事会
- 23日(土) 劇団銅鑼チムドンドンプレ企画
- 25日(月) 労働者協同組合法制化記念フォーラム
- 26日(火) 協同ではたらくガイドブック実践編打合せ
- 27日(水) 新法人立ち上げ会議、草苑保育専門学校訪問
- 28日(木) 季刊労働法編集者と懇談、JYC連続講座(利根川、荒井)
- 29日(金) 変革型経済世界社会フォーラム 日本委員会 第13回勉強会「労協法成立の意義」相良出講、ぐるぐるプロジェクト会議
- 30日(土) 埼玉よい仕事研究交流集会(埼玉大学寄附講座と連携)

2月

- 1日(月) 本部よい仕事研究交流集会、法制化委員会
- 2日(火) 労協連合同5役会議
- 3日(水) 埼玉大学寄附講座、協同総研2030年ビジョン策定委員会、鳥取大学協同組合論出講(相良)オンデマンド
- 4日(木) 拡大広報会議、現代座訪問(2月19日のタスクフォース会議に向けて)
- 5日(金) 全国よい仕事研究交流集会準備会、事務局会議
- 6日(土) JYCフォーラム理事会
- 8日(月) 組合員くらしのアンケート委員会
- 9-12日(火-金) 琉球大学ワーカーズコープ寄附講座春季集中講座
- 13日(土) 地域子育てフォーラム
- 15日(月) 本部シンポジオン、日本社会連帯機構事務局会議
- 18日(木) センター事業団未来人財部部会
- 19日(金) 現代座タスクフォース会議
- 20日(土) 労働者協同組合法制化大阪集会(工藤律子さん記念講演)
- 25-26日(木-金) センター事業団理事会
- 27-28日(土-日) 全国よい仕事研究交流集会2021

3月

- 9日(火) 労協連合同5 役会議
- 13日(土) 2020年度第4回協同総研理事会、協同総合研究所30周年記念集会
- 25日(木) 労協連理事会
- 26日(金) センター事業団理事会
- 27日(土) 労働者協同組合法制化京都集会(第2回協同総研関西会員集会)

2020年度協同総研理事会・総会日程案

- 第4回理事会 3月13日(土)10:30~ 30周年記念集会PM(コロナ情勢を勘案する)
- 第5回理事会 5月22日(土)10:30~
- 第9回総会 6月26日(土)

協同総合研究所 30周年記念集会 3月13日(土)PM開催

協同総研ロゴ募集！

協同総合研究所は1991年3月に設立され、2021年3月で30周年を迎えます。これを記念し、協同総研のアイデンティティを分かりやすく見える化するため、ロゴを作成することになりました。ワーカーズコープ組合員の方、協同総研会員の方、そのご友人やお知り合いの方など広くご参加いただけます。どうぞ奮ってご応募いただきますようお願いいたします。



最優秀賞（1名） 賞金5万円&記念品
優秀賞（2名） 賞金1万円&記念品
参加賞（全員） 記念品

ロゴマーク条件

- 協同総研のイメージ目標「**協同性+普遍性+先進性**」を表現するものとしてください。協同総研は、このロゴを活用していくことにより、「日本で唯一の協同労働の研究所として、**実践と研究、分野と分野の接点であり、共につくる研究所**」であると同時に、人間の根源的な営みである協同を基礎に、時代をしなやかにリードする、「**本質的で新しい研究所**」と見られることを目指します。
- 色数は自由ですが、単色・モノクロで使用したり、縮尺を変えたりしてもイメージや安定感が損なわれない、どんな場面でも使え、色褪せないシンプルなデザインとしてください。
- どのような人にも親しみやすい、参加したくなるようなデザインとしてください。

募集要項

- 募集対象：どなたでも応募いただけます。
ワーカーズコープ組合員、協同総研会員、連合会加盟組織、組合員会員の友人や知人
- 応募点数：1人につき1点まで。
- 応募方法：メールまたは応募用紙にて必要事項を記載の上、メールまたは郵送等で応募。
オンラインでも応募できます→ <https://forms.gle/QwrMMoKqJ4viA8Wu5>
- 選考方法：30周年記念企画検討委員会で審査後、協同総研会員投票を経て決定。
- 発表方法：2021年3月末に協同総研HPやML等で公表。

詳しくはHPをご覧ください

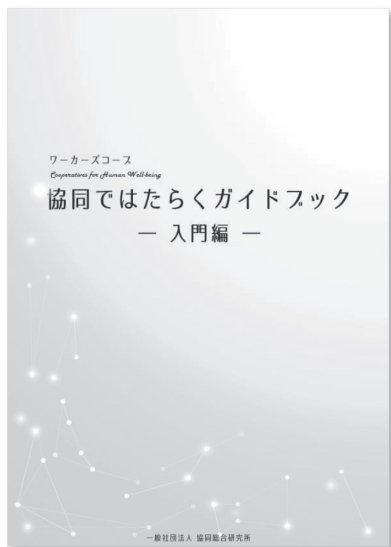


応募締切

2021.2.28 sun

〈お問い合わせ先〉 一般社団法人 協同総合研究所 担当：荒井
Tel 03-6907-8033 Fax 03-6907-8034 E-mail kyodoken@roukyou.gr.jp

【購入申込書】



2019年9月30日発行

発行・制作 一般社団法人 協同総合研究所

定価：500円（税込）

会員・組合員：300円（税込）

完成しました！

ワーカーズコース 協同ではたらくガイドブック - 入門編 -

特徴

- ✓ ワーカーズコースを知らない人にも分かりやすい構成
- ✓ 実践している人の声を掲載し、働き方をイメージできるように
- ✓ 「立ち上げプロセス」では、手順やチェックポイントで詳細を解説

Contents

第1部 ワーカーズコープで働く

私たち協同労働やっています！/私たちは協同労働で挑戦する/協同労働 ワーカーズコープが発見した新しい働き方とは？/リーダーたちの本音トーク/協同労働への期待

第2部 ワーカーズコープを立ち上げる

ワーカーズコープ立ち上げプロセス/よい仕事のための心がけ/はじめるまえに知りたい協同労働Q&A/仕事おこし実践事例/海外事例 スペインにおけるワーカーズコープ

〈資料〉「労働者協同組合」の法制化/連絡先一覧/協同総合福祉拠点/協同労働の協同組合の原則/むすびに

“

わたしたちが暮らす地域で、わたしたちに必要な仕事を、わたしたち自身がおこす。ワーカーズコープが実践するのは、そんな「働きたい」「生きがい」を育てる新しい働き方。 —「はじめに」より—

”

ご注文FAX番号 03-6907-8034

下記の太枠に必要事項をご記入の上、協同総合研究所にお送りください。

ワーカーズコース
協同ではたらくガイドブック - 入門編 -

定価：500円（税込）

会員・組合員：300円（税込）



ご注文QRコード
こちらのコードから
ご注文いただけます。

ふりがな ご氏名	購入部数	部
所属先		
送付先 〒	-	
電話番号	メールアドレス	

一般社団法人 協同総合研究所

TEL: 03-6907-8033

E-mail: kyodoken@roukyou.gr.jp

※お名前、ご住所などの個人情報の記入欄を設けてありますが、個人情報（書籍の発送・請求以外の目的）に使用することはありません。また、ご本人の同意なく第三者に提供することもしません。